

未収債権の目標及び具体処理策の一覧

所属名:中央卸売市場

[illegible]

未収債権の目標及び具体処理策

所 属: 中央卸売市場総務担当

1. 債権名(債権区分)

施設使用料	区分: 公債権(強制徴収できない)
-------	-------------------

2. 未収金残高の推移(目標)

26実績	11,722 千円	27目標	13,466 千円	27実績	10,720 千円
28目標	13,411 千円	29目標	13,376 千円		

3. 徴収率及び整理率(不納欠損・調定変更)の実績及び目標

現年度	徴収率	26実績 99.9%	27目標 100.0%	27実績 99.9%	28目標 99.9%	29目標 100.0%
	整理率	26実績 99.9%	27目標 100.0%	27実績 99.9%	28目標 99.9%	29目標 100.0%
過年度	徴収率	26実績 25.3%	27目標 0.3%	27実績 36.6%	28目標 16.7%	29目標 13.4%
	整理率	26実績 34.4%	27目標 0.3%	27実績 36.6%	28目標 16.7%	29目標 13.4%

4. 27年度決算での未収金残高の状況

	合計	11 件	10,720 千円	11 人
(件数、金額、債務者数(実人数))	27年度賦課分	5 件	3,289 千円	
	26年度以前賦課分	6 件	7,431 千円	

回収債権

- ①処分したもののうち、換価前のもの
②分納誓約・徴収猶予
③交渉中

計	9 件	9,387 千円
	件	千円
	件	千円
	9 件	9,387 千円

整理債権

- ④処分したもののうち、換価残で履行見込みのないもの
⑤執行停止・徴収停止等の決定を行ったもの
⑥時効年限を経過したもの
⑦生活困窮状態で履行見込みのないもの
⑧当該債権について破産による免責決定があるもの
⑨相続人が限定承認しており、相続財産価額が少額であるもの
⑩死亡・行方不明等で徴収見込みのないもの

計	2 件	1,333 千円
	件	千円
	2 件	1,333 千円
	件	千円
	件	千円
	件	千円
	件	千円
	件	千円

5. 27年度の目標達成状況及び取組内容の検証など

○目標達成状況(未収金残高)

目標達成状況(現年度+過年度)		
	うち現年度	うち過年度
A	B1	A

- A: 目標を達成
B1: 目標を達成できなかった(取組は予定どおり実施)
B2: 目標を達成できなかった(取組を予定どおり実施しなかった)

○現年度の取組内容の検証など

27年度 取組内容	27年度 取組実績
・滞納整理事務マニュアルに基づき、適正な徴収事務を行っていく。	・滞納整理事務マニュアルに基づき概ね適正に徴収事務の遂行がなされており、徴収率は99.9%となっている。



課題	改善策
・少数ではあるが、新規の滞納業者が発生している。	・新規の滞納業者が増加しないように、情報収集を十分に行い、督促・交渉等を適切に行っていく。

○過年度の取組内容の検証など

27年度 取組内容	27年度 取組実績
・現在も市場内で営業している債務者について、分納誓約書の提出を受けている者については、平成27年度についても平成26年度と同様100%の回収が果たされるよう注視していく。他の債務者についても、滞納債権が回収困難とならないよう督促・交渉等を十分に行っていく。 ・現在市場内で営業していない債務者のうち、行方不明ないし生活困窮のため徴収が困難な債務者については、不納欠損ないし徴収停止に移行すべく、他局のノウハウ等も参考にしながら当該処理に必要な情報を把握するよう努めていく。また、消滅時効期間を経過した債権については遺漏なく不納欠損を行うよう会計処理に留意する。 ・その他の債務者については、実効的な回収方法を検討し、適切な方法で債権回収を進めて行く。	・現在も市場内で営業している債務者のうち、分納誓約書の提出を受けている者については、平成27年度においても100%の回収を行うことができている。他の債務者についても、概ね適正な督促・交渉等が実施できている。 ・現在市場内で営業していない債務者のうち、事業休止のため徴収が困難な債務者については、所在・財産調査等の準備が整った者に対し、平成27年度末に徴収停止を行った。 ・その他の債務者については、関係部署で協議を重ねる等して回収方法の検討を行った。



課題	改善策
・不納欠損や徴収停止を行うための情報等の把握や財産調査・所在調査等を一定程度進め、一部の債務者に対し徴収停止を行ったものの、まだ未収債権が残っている。	一定の情報は得ることができたため、これらの情報を参考にしながら更に調査を進め、徴収停止の手続きに向けた債権管理を適切に行う。

6. 28年度取組内容 (5.「27年度の目標達成状況及び取組内容の検証など」の内容を踏まえて記載すること)

○現年度分

- ・滞納整理事務マニュアルに基づき、適正な徴収事務を行っていく。

○過年度分

- ・現在も市場内で営業している債務者について、分納誓約書の提出を受けている者については、平成28年度についても平成27年度と同様100%の回収が果たされるよう注視していく。他の債務者についても、分納誓約の徴収が可能な者については徴収に努める等し、滞納債権が回収困難とならないよう督促・交渉等を十分に行っていく。
- ・現在市場内で営業していない債務者のうち、行方不明ないし生活困窮のため徴収が困難な債務者については、不納欠損ないし徴収停止に移行すべく、平成27年度に収集した情報を参考にしながら当該処理に必要な情報を把握するよう努めていく。また、消滅時効期間を経過した債権については遺漏なく不納欠損を行うよう会計処理に留意する。
- ・その他の債務者については、引続き実効的な回収方法を検討し、適切な方法で債権回収を進めて行く。

(参考)27年度実績及び28年度目標の他都市比較(未収金残高1億円以上の債権のみ)

未収債権の目標及び具体処理策

所 属: 中央卸売市場総務担当

1. 債権名(債権区分)

電気維持料	区分: 私債権
-------	---------

2. 未収金残高の推移(目標)

26実績	4,131 千円	27目標	4,104 千円	27実績	4,636 千円
28目標	3,897 千円	29目標	3,701 千円		

3. 徴収率及び整理率(不納欠損・調定変更)の実績及び目標

現年度	徴収率	26実績 99.9%	27目標 100.0%	27実績 99.9%	28目標 99.9%	29目標 99.9%
	整理率	26実績 99.9%	27目標 100.0%	27実績 99.9%	28目標 99.9%	29目標 99.9%
過年度	徴収率	26実績 32.1%	27目標 5.3%	27実績 9.2%	28目標 35.0%	29目標 27.7%
	整理率	26実績 32.2%	27目標 5.3%	27実績 9.2%	28目標 35.0%	29目標 27.7%

4. 27年度決算での未収金残高の状況

(件数、金額、債務者数(実人数))	合計	14 件	4,636 千円	14 人
27年度賦課分		5 件	885 千円	
26年度以前賦課分		9 件	3,751 千円	

回収債権

- ①処分したもののうち、換価前のもの
②分納誓約・徴収猶予
③交渉中

計	7 件	1,184 千円
	件	千円
	件	千円
	7 件	1,184 千円

整理債権

- ④処分したもののうち、換価残で履行見込みのないもの
⑤執行停止・徴収停止等の決定を行ったもの
⑥時効年限を経過したもの
⑦生活困窮状態で履行見込みのないもの
⑧当該債権について破産による免責決定があるもの
⑨相続人が限定承認しており、相続財産価額が少額であるもの
⑩死亡・行方不明等で徴収見込みのないもの

計	7 件	3,452 千円
	件	千円
	1 件	31 千円
	6 件	3,421 千円
	件	千円
	件	千円
	件	千円
	件	千円

5. 27年度の目標達成状況及び取組内容の検証など

○目標達成状況(未収金残高)

目標達成状況(現年度+過年度)		
	うち現年度	うち過年度
B1	B1	A

A: 目標を達成

B1: 目標を達成できなかった(取組は予定どおり実施)

B2: 目標を達成できなかった(取組を予定どおり実施しなかった)

○現年度取組内容の検証など

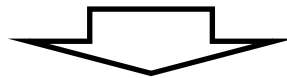
27年度 取組内容	27年度 取組実績
・滞納整理事務マニュアルに基づき、適正な徴収事務を行っていく。	・滞納整理事務マニュアルに基づき概ね適正に徴収事務の遂行がなされており、徴収率は99.9%となっている。



課題	改善策
・少数ではあるが、新規の滞納業者が発生している。	・新規の滞納業者が増加しないように、情報収集を十分に行い、督促・交渉等を適切に行っていく。

○過年度の取組内容の検証など

27年度 取組内容	27年度 取組実績
・現在も市場内で営業している債務者については、分納誓約の徴収が可能な者については徴収に努める等し、滞納債権が回収困難とならないよう督促・交渉等を十分に行っていく。 ・現在市場内で営業していない債務者のうち、行方不明ないし生活困窮のため徴収が困難な債務者については、不納欠損ないし徴収停止に移行すべく、平成26年度に収集した情報を参考にしながら当該処理に必要な情報を把握するよう努めていく。 ・その他の債務者については、引続き実効的な回収方法を検討し、適切な方法で債権回収を進めて行く。	・現在も市場内で営業している債務者については、概ね適正な督促・交渉等が実施できた。 ・現在市場内で営業していない債務者のうち、事業休止のため徴収が困難な債務者については、所在・財産調査等の準備が整った者に対し、平成27年度末に徴収停止を行った。 ・その他の債務者については、関係部署で協議を重ねる等して実効的な回収方法の検討を行った。



課題	改善策
・不納欠損や徴収停止を行うための情報等の把握や財産調査・所在調査等を一定程度進め、一部の債務者に対し徴収停止を行ったものの、まだ未収債権が残っている。	一定の情報は得ることができたため、これらの情報を参考にしながら更に調査を進め、徴収停止の手続きに向けた債権管理を適切に行う。

6. 28年度の取組内容（5.「27年度の目標達成状況及び取組内容の検証など」の内容を踏まえて記載すること）

○現年度分

- ・滞納整理事務マニュアルに基づき、適正な徴収事務を行っていく。

○過年度分

- ・現在も市場内で営業している債務者については、分納誓約の徴収が可能な者については徴収に努める等し、滞納債権が回収困難とならないよう督促・交渉等を十分に行っていく。
- ・現在市場内で営業していない債務者のうち、行方不明ないし生活困窮のため徴収が困難な債務者については、不納欠損ないし徴収停止に移行すべく、平成27年度に収集した情報を参考にしながら当該処理に必要な情報を把握するよう努めていく。
- ・その他の債務者については、引続き実効的な回収方法を検討し、適切な方法で債権回収を進めて行く。

（参考）27年度実績及び28年度目標の他都市比較（未収金残高1億円以上の債権のみ）

未収債権の目標及び具体処理策

所 属: 中央卸売市場総務担当

1. 債権名(債権区分)

水道維持料	区分: 私債権
-------	---------

2. 未収金残高の推移(目標)

26実績	1,461 千円	27目標	1,612 千円	27実績	1,449 千円
28目標	1,611 千円	29目標	1,610 千円		

3. 徴収率及び整理率(不納欠損・調定変更)の実績及び目標

現年度	徴収率	26実績 100.0%	27目標 100.0%	27実績 99.9%	28目標 99.9%	29目標 100.0%
	整理率	26実績 100.0%	27目標 100.0%	27実績 99.9%	28目標 99.9%	29目標 100.0%
過年度	徴収率	26実績 30.6%	27目標 0.1%	27実績 17.0%	28目標 10.6%	29目標 9.5%
	整理率	26実績 32.0%	27目標 0.1%	27実績 17.0%	28目標 10.6%	29目標 9.5%

4. 27年度決算での未収金残高の状況

	合計	14 件	1,449 千円	14 人
(件数、金額、債務者数(実人数))	27年度賦課分	4 件	237 千円	
	26年度以前賦課分	10 件	1,212 千円	

回収債権

計	7 件	748 千円
①処分したもののうち、換価前のもの	件	千円
②分納誓約・徴収猶予	件	千円
③交渉中	7 件	748 千円

整理債権

計	7 件	701 千円
④処分したもののうち、換価残で履行見込みのないもの	件	千円
⑤執行停止・徴収停止等の決定を行ったもの	1 件	51 千円
⑥時効年限を経過したもの	1 件	4 千円
⑦生活困窮状態で履行見込みのないもの	5 件	646 千円
⑧当該債権について破産による免責決定があるもの	件	千円
⑨相続人が限定承認しており、相続財産価額が少額であるもの	件	千円
⑩死亡・行方不明等で徴収見込みのないもの	件	千円

5. 27年度の目標達成状況及び取組内容の検証など

○目標達成状況(未収金残高)

目標達成状況(現年度+過年度)		
	うち現年度	うち過年度
B1	B1	A

A: 目標を達成

B1: 目標を達成できなかった(取組は予定どおり実施)

B2: 目標を達成できなかった(取組を予定どおり実施しなかった)

○現年度の取組内容の検証など

27年度 取組内容	27年度 取組実績
・滞納整理事務マニュアルに基づき、適正な徴収事務を行っていく。	・滞納整理事務マニュアルに基づき概ね適正に徴収事務の遂行がなされており、徴収率は99.9%となっている。



課題	改善策
・少数ではあるが、新規の滞納業者が発生している。	・新規の滞納業者が増加しないように、情報収集を十分に行い、督促・交渉等を適切に行っていく。

○過年度の取組内容の検証など

27年度 取組内容	27年度 取組実績
・現在も市場内で営業している債務者については、分納誓約の徴収が可能な者については徴収に努める等し、滞納債権が回収困難とならないよう督促・交渉等を十分に行っていく。 ・現在市場内で営業していない債務者のうち、行方不明ないし生活困窮のため徴収が困難な債務者については、不納欠損ないし徴収停止に移行すべく、平成26年度に収集した情報を参考にしながら当該処理に必要な情報を把握するよう努めていく。	・現在も市場内で営業している債務者については、概ね適正な督促・交渉等が実施できた。 ・現在市場内で営業していない債務者のうち、事業休止のため徴収が困難な債務者については、所在・財産調査等の準備が整った者に対し、平成27年度末に徴収停止を行った。 ・その他の債務者については、関係部署で協議を重ねる等して実効的な回収方法の検討を行った。



課題	改善策
・不納欠損や徴収停止を行うための情報等の把握や財産調査・所在調査等を一定程度進め、一部の債務者に対し徴収停止を行ったものの、まだ未収債権が残っている。	一定の情報は得ることができたため、これらの情報を参考にしながら更に調査を進め、徴収停止の手続きに向けた債権管理を適切に行う。

6. 28年度の取組内容（5.「27年度の目標達成状況及び取組内容の検証など」の内容を踏まえて記載すること）

○現年度分

- ・滞納整理事務マニュアルに基づき、適正な徴収事務を行っていく。

○過年度分

- ・現在も市場内で営業している債務者については、分納誓約の徴収が可能な者については徴収に努める等し、滞納債権が回収困難とならないよう督促・交渉等を十分に行っていく。
- ・現在市場内で営業していない債務者のうち、行方不明ないし生活困窮のため徴収が困難な債務者については、不納欠損ないし徴収停止に移行すべく、平成27年度に収集した情報を参考にしながら当該処理に必要な情報を把握するよう努めていく。
- ・その他の債務者については、引き続き実効的な回収方法を検討し、適切な方法で債権回収を進めて行く。

（参考）27年度実績及び28年度目標の他都市比較（未収金残高1億円以上の債権のみ）

未収債権の目標及び具体処理策

所 属: 中央卸売市場総務担当

1. 債権名(債権区分)

その他雑収益	区分: 私債権
--------	---------

2. 未収金残高の推移(目標)

26実績	14 千円	27目標	0 千円	27実績	14 千円
28目標	0 千円	29目標	0 千円		

3. 徴収率及び整理率(不納欠損・調定変更)の実績及び目標

現年度	徴収率	26実績 100.0%	27目標 100.0%	27実績 100.0%	28目標 100.0%	29目標 100.0%
	整理率	26実績 100.0%	27目標 100.0%	27実績 100.0%	28目標 100.0%	29目標 100.0%
過年度	徴収率	26実績 0.0%	27目標 0.0%	27実績 0.0%	28目標 0.0%	29目標 -
	整理率	26実績 0.0%	27目標 100.0%	27実績 0.0%	28目標 100.0%	29目標 -

4. 27年度決算での未収金残高の状況

(件数、金額、債務者数(実人数))	合計	1 件	14 千円	1 人
27年度賦課分		件	千円	
26年度以前賦課分		1 件	14 千円	

回収債権

- ①処分したもののうち、換価前のもの
②分納誓約・徴収猶予
③交渉中

計	0 件	0 千円
	件	千円
	件	千円
	件	千円

整理債権

- ④処分したもののうち、換価残で履行見込みのないもの
⑤執行停止・徴収停止等の決定を行ったもの
⑥時効年限を経過したもの
⑦生活困窮状態で履行見込みのないもの
⑧当該債権について破産による免責決定があるもの
⑨相続人が限定承認しており、相続財産価額が少額であるもの
⑩死亡・行方不明等で徴収見込みのないもの

計	1 件	14 千円
	件	千円
	件	千円
	件	千円
	1 件	14 千円
	件	千円
	件	千円
	件	千円

5. 27年度の目標達成状況及び取組内容の検証など

○目標達成状況(未収金残高)

目標達成状況(現年度+過年度)		
	うち現年度	うち過年度
B1	A	B1

A: 目標を達成

B1: 目標を達成できなかった(取組は予定どおり実施)

B2: 目標を達成できなかった(取組を予定どおり実施しなかった)

○現年度の取組内容の検証など

27年度 取組内容	27年度 取組実績
・滞納整理事務マニュアルに基づき、適正な徴収事務を行っていく。	・滞納整理事務マニュアルに基づき概ね適正に徴収事務の遂行がなされており、徴収率は100%となっている。



課題	改善策
・徴収率は100%であるため、これを維持していく。	・新規の滞納業者が増加しないように、債権の回収状況を注視していく。

○過年度の取組内容の検証など

27年度 取組内容	27年度 取組実績
・債権の回収が困難であるため、引続き徴収停止に向けて所在・財産調査等の準備を進めていく。	・主として徴収停止の具体的方法を検討し、徴収停止に必要となる情報の把握に努めてきた。



課題	改善策
・徴収停止を行うための財産調査・所在調査等を一定程度進めたが、まだ十分な状態には至っていない。	一定の情報は得ることができたため、これらの情報を参考にしながら更に調査を進めていく。

6. 28年度の取組内容（5.「27年度の目標達成状況及び取組内容の検証など」の内容を踏まえて記載すること）

○現年度分

- ・滞納整理事務マニュアルに基づき、適正な徴収事務を行っていく。

○過年度分

- ・債権の回収が困難であるため、引続き徴収停止に向けて所在・財産調査等の準備を進めていく。

（参考）27年度実績及び28年度目標の他都市比較（未収金残高1億円以上の債権のみ）

未収債権の目標及び具体処理策

所 属: 中央卸売市場総務担当

1. 債権名(債権区分)

原状回復費用	区分: 私債権
--------	---------

2. 未収金残高の推移(目標)

26実績	378 千円	27目標	0 千円	27実績	378 千円
28目標	0 千円	29目標	0 千円		

3. 徴収率及び整理率(不納欠損・調定変更)の実績及び目標

現年度	徴収率	26実績 -	27目標 -	27実績 -	28目標 -	29目標 -
	整理率	26実績 -	27目標 -	27実績 -	28目標 -	29目標 -
過年度	徴収率	26実績 0.0%	27目標 0.0%	27実績 0.0%	28目標 0.0%	29目標 -
	整理率	26実績 0.0%	27目標 100.0%	27実績 0.0%	28目標 100.0%	29目標 -

4. 27年度決算での未収金残高の状況

(件数、金額、債務者数(実人数))	27年度賦課分	合計	1 件	378 千円	1 人
	26年度以前賦課分		1 件	378 千円	

回収債権

- ①処分したもののうち、換価前のもの
- ②分納誓約・徴収猶予
- ③交渉中

計	0 件	0 千円
	件	千円
	件	千円
	件	千円

整理債権

- ④処分したもののうち、換価残で履行見込みのないもの
- ⑤執行停止・徴収停止等の決定を行ったもの
- ⑥時効年限を経過したもの
- ⑦生活困窮状態で履行見込みのないもの
- ⑧当該債権について破産による免責決定があるもの
- ⑨相続人が限定承認しており、相続財産価額が少額であるもの
- ⑩死亡・行方不明等で徴収見込みのないもの

計	1 件	378 千円
	件	千円
	件	千円
	1 件	378 千円
	件	千円
	件	千円
	件	千円

5. 27年度の目標達成状況及び取組内容の検証など

○目標達成状況(未収金残高)

目標達成状況(現年度+過年度)		
	うち現年度	うち過年度
B1	A	B1

A: 目標を達成

B1: 目標を達成できなかった(取組は予定どおり実施)

B2: 目標を達成できなかった(取組を予定どおり実施しなかった)

○現年度の取組内容の検証など

27年度 取組内容	27年度 取組実績
・滞納整理事務マニュアルに基づき、適正な徴収事務を行っていく。	・滞納整理事務マニュアルに基づき概ね適正に徴収事務の遂行がなされており、徴収率は100%となっている。



課題	改善策
-	-

○過年度の取組内容の検証など

27年度 取組内容	27年度 取組実績
・債権の回収が困難であるため、引続き徴収停止に向けて所在・財産調査等の準備を進めていく。	・主として徴収停止の具体的方法を検討し、徴収停止に必要となる情報の把握に努めてきた。



課題	改善策
・徴収停止を行うための財産調査・所在調査等を一定程度進めたが、まだ十分な状態には至っていない。	一定の情報は得ることができたため、これらの情報を参考にしながら更に調査を進めていく。

6. 28年度の取組内容（5.「27年度の目標達成状況及び取組内容の検証など」の内容を踏まえて記載すること）

○現年度分 ・滞納整理事務マニュアルに基づき、適正な徴収事務を行っていく。 ○過年度分 ・債権の回収が困難であるため、引続き徴収停止に向けて所在・財産調査等の準備を進めていく。

（参考）27年度実績及び28年度目標の他都市比較（未収金残高1億円以上の債権のみ）